

令和5年度 「生徒による授業評価アンケート」の結果について（お知らせ）

早春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、本校では12月に「生徒による授業評価アンケート」を実施しましたので、その結果をお知らせします。また、これをもとに各教科において成果と今後の課題について協議しましたので、併せてお知らせします。生徒の皆さんも、授業に取り組む姿勢について改めて振り返り、一層学習に励むことを期待しています。

■質問項目

・授業の在り方について

- Q1 毎時間の授業や単元（内容のまとまり）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
- Q2 単元（内容のまとまり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
- Q3 単元（内容のまとまり）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。

・学習の状況について

- Q4 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。
- Q5 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。
- Q6 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
- Q7 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。

■評価

- 4：かなり当てはまる
- 3：ほぼ当てはまる
- 2：あまり当てはまらない
- 1：ほとんど当てはまらない

問合せ先

担当 学習支援グループ

電話 045-861-3500

令和5年12月 生徒による授業評価 集計結果

質問項目

○授業の在り方について

1. 毎時間の授業や単元（内容のまとまり）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
2. 単元（内容のまとまり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
3. 単元（内容のまとまり）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。

○学習の状況について

4. 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。
5. 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。
6. 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
7. 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。

評価 4：かなり当てはまる 3：ほぼ当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：ほとんど当てはまらない

表1 回答総数、回答率

1年	2年	3年
265	251	230
95.3%	91.6%	83.0%

国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	外国語	家庭	情報	キャリア	総探
1100	757	572	919	600	1287	746	1112	491	300	19	746

表2 各教科の集計結果

質問項目	1				2				3				4				5				6				7							
	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
国語	27%	52%	18%	3%	29%	54%	15%	2%	27%	55%	16%	2%	24%	58%	14%	3%	28%	56%	14%	3%	24%	58%	15%	3%	26%	59%	13%	2%	26%	59%	13%	2%
地歴	23%	50%	22%	4%	19%	52%	23%	7%	19%	53%	23%	5%	20%	55%	20%	5%	18%	51%	24%	6%	20%	54%	21%	5%	24%	57%	15%	4%	24%	57%	15%	4%
公民	39%	46%	13%	2%	34%	51%	12%	3%	30%	54%	13%	2%	28%	55%	14%	2%	31%	53%	14%	2%	28%	56%	13%	3%	30%	57%	11%	2%	30%	57%	11%	2%
数学	22%	48%	22%	8%	19%	52%	22%	7%	23%	55%	18%	4%	31%	53%	13%	4%	20%	52%	21%	7%	22%	56%	17%	5%	24%	57%	15%	5%	24%	57%	15%	5%
理科	25%	50%	22%	4%	23%	53%	19%	4%	23%	57%	16%	4%	22%	56%	17%	5%	21%	52%	22%	5%	20%	56%	20%	4%	21%	57%	19%	4%	21%	57%	19%	4%
保体	31%	51%	14%	3%	25%	55%	17%	3%	29%	57%	12%	2%	32%	54%	13%	2%	25%	55%	17%	3%	27%	57%	14%	2%	27%	59%	12%	2%	27%	59%	12%	2%
芸術	27%	49%	19%	5%	26%	52%	16%	6%	26%	56%	13%	5%	32%	53%	11%	4%	25%	53%	16%	5%	25%	58%	12%	5%	27%	56%	11%	5%	27%	56%	11%	5%
外国語	20%	52%	23%	5%	22%	55%	20%	3%	20%	57%	19%	3%	22%	58%	16%	4%	19%	56%	22%	3%	20%	57%	20%	4%	21%	59%	17%	3%	21%	59%	17%	3%
家庭	18%	51%	24%	8%	17%	56%	20%	7%	16%	59%	18%	6%	22%	56%	16%	6%	16%	55%	22%	7%	15%	58%	20%	6%	16%	60%	17%	6%	16%	60%	17%	6%
情報	22%	52%	21%	5%	14%	57%	24%	4%	19%	60%	20%	2%	25%	58%	15%	2%	17%	59%	22%	2%	19%	60%	17%	3%	20%	62%	16%	2%	20%	62%	16%	2%
キャリア	26%	42%	26%	5%	16%	58%	26%	0%	21%	53%	26%	0%	32%	53%	16%	0%	16%	53%	32%	0%	11%	68%	21%	0%	11%	58%	32%	0%	11%	58%	32%	0%
総探	24%	54%	17%	5%	27%	57%	13%	3%	26%	58%	12%	3%	20%	56%	18%	6%	26%	58%	12%	3%	23%	59%	14%	4%	21%	58%	16%	4%	21%	58%	16%	4%

表3 各教科及び全体について、肯定的な回答（評価「4 かなり当てはまる」又は「3 ほぼ当てはまる」）をした割合を、質問項目ごとに示した結果

質問項目	国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	外国語	家庭	情報	キャリア	総探	全体
1	79.4%	73.1%	85.1%	70.7%	74.3%	82.4%	75.9%	72.0%	68.4%	74.0%	68.4%	78.0%	75.8%
2	83.4%	70.8%	85.5%	71.2%	76.3%	80.0%	77.5%	77.1%	72.9%	71.3%	73.7%	83.9%	77.2%
3	81.7%	72.7%	84.6%	77.7%	80.0%	85.9%	81.5%	77.7%	76.0%	78.7%	73.7%	84.3%	80.0%
4	82.9%	75.0%	83.2%	83.2%	78.7%	85.6%	84.9%	80.1%	77.6%	83.3%	84.2%	75.9%	80.9%
5	83.4%	69.7%	83.9%	72.0%	73.3%	80.4%	78.6%	74.3%	70.7%	75.3%	68.4%	84.0%	76.9%
6	82.1%	73.4%	84.3%	78.3%	75.8%	84.5%	83.1%	76.3%	73.3%	79.7%	78.9%	82.3%	79.4%
7	84.4%	80.7%	87.4%	80.4%	78.0%	85.9%	83.4%	79.3%	77.0%	82.3%	68.4%	79.4%	81.5%

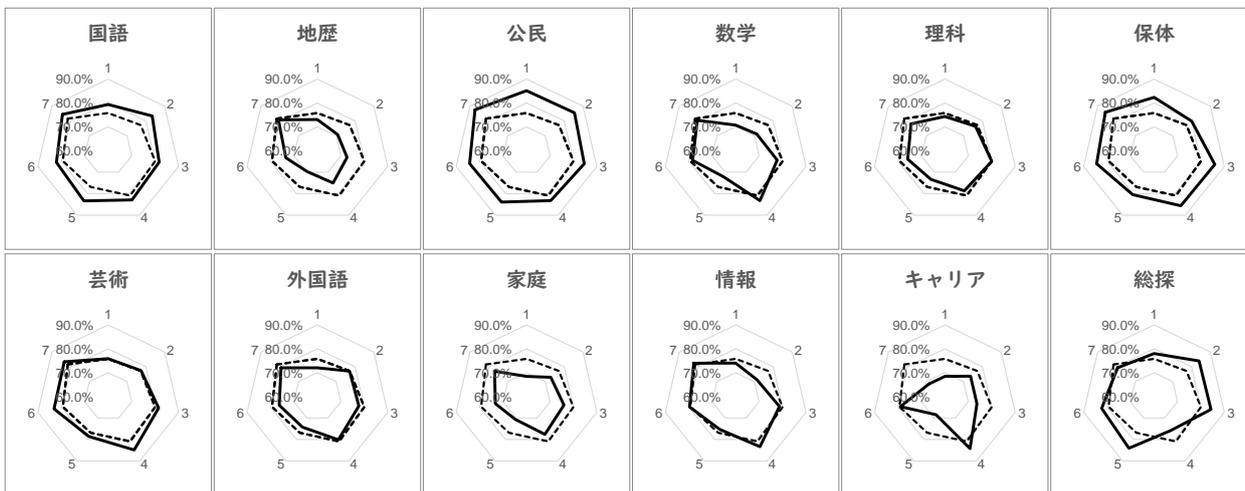


表4 少人数指導の集計結果

質問項目\評価	4	3	2	1	肯定的
8. 少人数の授業では、発言や発表がしやすい	26.7%	48.3%	20.6%	4.4%	75.0%
9. 少人数の授業では、分からないときに先生に質問がしやすい	35.2%	44.8%	15.2%	4.8%	80.0%
10. これからも少人数の授業を続けてほしい	43.5%	42.7%	9.8%	4.0%	86.3%

令和5年度 「生徒による授業評価」の振り返り

質問項目

授業の在り方について

- Q1 毎時間の授業や単元（内容のまとめ）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある
- Q2 単元（内容のまとめ）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある
- Q3 単元（内容のまとめ）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある

学習の状況について

- Q4 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。
- Q5 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた
- Q6 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
- Q7 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

教科	成果	今後の課題
国語	ほぼすべての項目で肯定的な回答が八割を占めたので、現在の授業方法を原則的に継続していきたい。小テストの実施により知識が定着していることを生徒が実感できているようでよかったと思う。	「学習のねらい、振り返り」に対する評価が若干低いので、もっと意識させる工夫が必要であると考え。来年度の課題としたい。
地歴公民	Q4とQ7において肯定的な回答が多く、知識を活用したり、できたことを実感する機会を多く作ることができたことがわかる。	他の質問項目に比べ、Q5で肯定的な回答が少ない。自分の考えを広げ、深めることのできるような授業づくりをすることが課題である。
数学	Q4の肯定的な回答が8割を占めた。理由として、動画的なイメージがあると理解が深まる単元等でICTを活用したこと、身近な例と学習内容を関連付けて指導したことが挙げられる。	「授業の在り方について」の数値が若干低いため、学習のねらい、振り返り、グループワーク等の機会を改めて見直していく。また、1人1台パソコンを活用した授業づくりにも取り組んでいく。
理科	授業を通して、身についたことやできるようになったことを実感した生徒が多くいたことは前向きに受け止めたい。今後も、生徒の実態に合わせて、達成感を感じられる授業をしていきたい。	授業や単元の目標を理解できていない生徒が見られるようなので、授業開始時に明確にできるようにする。また、内容のまとめを意識して授業の展開の仕方を工夫していく。
保健体育	肯定的な意見が多くみられたところはポジティブに考えて継続して授業展開していきたい。	保健の授業では購入させている教材を使用する機会が少ないところに疑問を持っている生徒もいるところは今後の課題である。
芸術	制作を通しての学習においては各自の能力を引き出すことに概ね成果があったと分析する。環境整備などにも努めた成果もあったと考える。	教科の性質上、発言や発表などの評価が少し低い。今後は、発表やペアワークなども取り入れてアクティブラーニング的な対応も取り入れていきたいと考えている。
外国語（英語）	授業を通して、身についたことやできるようになったことを実感した生徒が多くいるという前向きな結果であった。今後も、生徒の実態やレベルに合わせて、達成感を感じさせていきたい。	授業や単元の目標を理解できていない生徒が見られるようなので、授業開始時に明確にできるようにする。また、授業のまとめをする時間を設けるように、授業の展開の仕方を工夫していく。
家庭	1年家庭総合、2年家庭基礎で厳しい評価となった。2年家庭総合では全クラスで目標の提示と振り返りを毎時間実施しているが、Q1が77%しか肯定的な回答がなかったのは信頼度に欠ける。	グループワークを取り入れたり、課題解決方法を考えたりできるような授業展開の仕方を工夫していく。
情報	1年の情報Iと3年の文書作成と表計算は少人数の展開と教材の精選により肯定的な回答が多い。	教材の配信や教材の提示方法をより工夫して、生徒の学習成果があがるようにしたい。研究を進めていく。